



JBC news

since 1970

【毎月1回1日発行・1部20円】

JBCニュース
第563号 平成30年11月1日
昭和50年5月19日第三種郵便物認可

発行所
公益財団法人 全日本ボウリング協会
東京都港区芝4-4-10
サンライズ長井ビル8F 03(3452)4501
<http://www.jbc-bowling.or.jp/>

完全制覇

いいね👍 神奈川



福井しあわせ元気国体2018

第73回 国民体育大会 織りなそう 力と技と美しさ

昨年の男女総合優勝チーム神奈川県が、今年は女子総合も制して2冠を独占しました。表情から伺えるのは、男子は守る立場のプレッシャーに打ち克った安堵感。女子は自らの力で優勝をもぎ取った充実感。そしてカジュアルにきめた「いいね👍」からは、余裕さえも見えたチーム神奈川なのでした。

- 2面 ジュニアジャパン強化合宿
- 3面 第19回 アジアスクール選手権大会
- 4~6面 第73回 国民体育大会ボウリング競技
- 7面 第9回東日本・西日本 シニア選手権大会
- 8面 ナショナルチーム通信、INFORMATION



SPORTS ENTERTAINMENT ROUND 1

GRAND CHAMPIONSHIP BOWLING

JAPAN 2018

日本全国すべてのマイボウラーの
頂点の座は誰の手に?!

グランドチャンピオンシップ
11月10日 ラウンドワン南砂店で
JPBA・NBF・JBCの代表選手が激突

主催: JPBA JBC WBF 特別協賛: SPORTS ENTERTAINMENT ROUND 1

<http://www.jbc-bowling.or.jp/gcb/>

JBCニュースは、スポーツ振興くじ助成金を受けて発行しています



有望ジュニア選手が合宿でレベルアップ

ジュニアジャパン選抜選手強化合宿



ジュニアジャパン選抜選手強化合宿が10月12日(金)から14日(日)にかけて、静岡・DHC赤沢ボウル(公認No.124・094)で開催されました。8月に全国4地区で行われたジュニアジャパン選抜選手強化合宿で発掘された有望な選手24名が再び集まり、トップ選手になるための強化プログラムを受けました。

初日の開講式では、強化選手の認定証とエンブレム、そして合宿参加者のみに贈られる

合宿中は、全日本ナショナルチームの地下賀守監督によるリドのもと、競技力向上部会の准未来部会員、石



ユニフォームは合宿の楽しみのひとつ

2018ジュニアジャパンメンバー専用のユニフォームが全員に手渡されました。



佐々木キャプテンが講習を展開

正しいストレッチ方法を学ぶ

嶺可奈子地域強化コーチ(元ナショナルチームメンバー)、ナショナルチームの佐々木智之キャプテンが指導にあたりました。投球法についてのレッスンはもちろん、レインコンディション解説の授業や、ストレッチとフィジカル強化方法の指導を展開。将来トップ選手として活躍するためのレベルアップを図りました。



投球指導する下地監督

2018年度各連盟公認競技会・リーグ登録数

地区名	連盟	2018年10月31日現在	
		競技会 公認件数	リーグ 公認件数
北海道地区	北海道	29	43
	青森	33	4
	岩手	22	24
	宮城	29	54
東北地区	秋田	17	14
	山形	17	29
	福島	19	2
	茨城	18	18
関東地区	栃木	11	35
	群馬	16	65
	埼玉	38	35
	千葉	24	12
北信越地区	新潟	1	19
	富山	29	13
	石川	17	1
	福井	11	17
東海地区	長野	22	46
	岐阜	18	22
	愛知	22	12
	三重	9	1
関西地区	滋賀	26	60
	京都	58	85
	大阪	32	54
	奈良	26	27
中国地区	和歌山	37	78
	徳島	55	50
	高松	38	7
	香川	26	13
四国地区	愛媛	12	8
	高知	14	7
	徳島	9	10
	香川	5	6
九州・沖縄地区	福岡	51	58
	佐賀	15	8
	熊本	13	11
	鹿児島	12	16
全日本学生連合		12	3
計		976	254

国体・スポーツマスターズ 2019のブロック割当決定

2018年度第3回理事会(10月19日付・決議省略)において、2019年度の国体・日本スポーツマスターズのブロック割当が決定しました。

第74回国民体育大会(いきいき茨城ゆめ国体)ボウリング競技は10月1日(火)から7日(月)にかけて茨城県取手市のフジ取手ボウル(公認No.108・008)で開催。日本スポーツマスターズ2019ぎふ清流大会は9月20日(金)から23日(月・祝)に岐阜県多治見市の多治見パークレーンズ(公認No.124・036)で開催されます。

第3回理事会ではこのほか、JBC公認第1種・第2種審判員昇格試験の合格者や、第15回アジアニア選手権大会の収支予算についてなどが決議されました。

第74回国民体育大会ボウリング競技会 ブロック割当

ブロック名	都道府県名	成年		少年	
		男子	女子	男子	女子
北海道	北海道	1	1	1	1
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	3	3	3	3
関東	栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	5	4	4	4
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	3	2	2	2
東海	静岡、愛知、三重、岐阜	2	2	3	3
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、和歌山	3	3	2	2
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	3	3	2	2
四国	香川、徳島、愛媛、高知	2	1	2	1
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	5	4	4	4
開催地	(茨城県)	1	1	1	1
計		28	24	24	23

日本スポーツマスターズ2019ぎふ清流大会 ブロック割当

ブロック名	都道府県名	男子	女子
北海道	北海道	1	1
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	3	3
関東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	5	5
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	3	3
東海	静岡、愛知、三重、岐阜	3	3
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	4	4
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	3	3
四国	香川、徳島、愛媛、高知	2	2
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	5	5
大韓民国		2	2
開催地	(岐阜県)	1	1
計		32	32

JBC公認第1種・第2種 審判員昇格講習会を開催

JBC公認第1種・第2種審判員昇格講習会が9月22日(土)から24日(月・祝)にかけて、大阪・弁天町グランドボウルで開催されました。

上位の審判資格取得を目指す49名が受講し試験に臨みました。また聴講者として、JSP(旧・日体協)公認ボウリング指導者の資格更新のための義務研修として学ぶ方も参加しました。

第2種審判員は地区レベルの大会で主任審判員を務められる資格で、第3種資格取得後1年以上を経過すると受験資格が得られます。

JBC公認第1種・第2種 審判員昇格講習会を開催 指導委員会

第1種審判員は全国大会で主任審判員を務めることができ、第2種資格取得後2年以上経過者が受験資格です。

【第1種合格者】

- ▽栃木 松本裕司
- ▽東京 森田稔
- ▽滋賀 桑原敏弘
- ▽京都 森下潤、石野裕也
- ▽大阪 山口弘也、今井康弘、笹間智博
- ▽兵庫 津田由美子
- ▽広島 藤岡秀美
- ▽熊本 堀田浩毅、小原隆之
- ▽大分 安藤いつ子
- ▽鹿児島 岩下真
- ▽沖縄 喜友名朝一、小山正樹

【第2種合格者】

- ▽青森 鎌田修三、深堀雄一、和田祐輔
- ▽宮城 角川容弘、助友信行
- ▽茨城 宮本耕一
- ▽栃木 日下俊夫、藤沼史
- ▽神奈川 佐々木智之、水野浩一、水野みどり
- ▽静岡 八谷通彦、楢垣智美
- ▽三重 仲摩秀康、佐々木秀樹
- ▽岐阜 清水敦博
- ▽滋賀 池本雅尚、竹内さおり、猪飼佑輔
- ▽京都 奥享子、岡部俊樹、吉川伸一、横田正一
- ▽兵庫 森美樹
- ▽岡山 牧哲也、鯉坂安弘
- ▽高知 中越勝美
- ▽佐賀 森恵美子、北出紀子、伊藤耕一郎、松尾斉
- ▽大分 渡辺辰男
- ▽沖縄 下地良信

JBC公認競技場 連携推進委員会が始動

今年度新設されたJBC公認競技場連携推進委員会が10月11日(土)に第1回会議を行いました。

本誌始動しました。東・中・西日本のブロックごとに公認競技場関係者を代表する委員として、東日本は宮沢隆氏(群馬・パークレーン高崎)、中日本は里見隆氏(秋田・ランドボウル)、西日本は藤元良一氏(宮崎・宮崎エースレーン)の3名が委嘱されました。

委員会は今後の公認競技場の全国的ネットワークの構築を進め、ジュニアボウラー開発・高等学校体育連盟加盟のバックアップを図ります。

賛助会員・特別法人・個人会員紹介

〈平成30年10月1日以降登録者〉

【特別個人会員】

- ▽福島県 亀岡健民(連盟会長)
- ▽伊藤寛(JBC理事、連盟理事長)
- ▽垣内泰事(連盟副理事長)
- ▽齊藤憲清、久保田友久、高橋淳治(同、根本長徳(同、大河内未来)
- ▽埼玉県 立原明(連盟会長)
- ▽関根忠夫(同副会長)

長)、沼上孝幸(同、高山敏昭(同理事長)、金子正春(同副理事長)、柴田忠一郎(同、片倉章次郎、阿部清、一、唐津美佐子

▽宮崎県 松尾紀正

〈順不同、敬称略〉

イベントカレンダー

11月&12月

- ▽11月1日(木)～4日(日) 内閣総理大臣杯・文部科学大臣杯第47回全国都道府県対抗選手権大会(第74回茨城国体対抗選手権大会)
- ▽11月10日(土) ROUND 1 GRAND CHAMPIONSHIP BOWLING 2018 グランドチャンピオン大会 東京・ラウンドボウル南砂店
- ▽11月23日(金・祝) 25日(日) 文部科学大臣杯第56回全日本選手権大会 神奈川・川崎ランドボウル
- ▽11月23日(金・祝) 25日(日) 第51回全日本実業団選手権大会 愛媛・キスケボウル
- ▽11月24日(土) 12月5日(水) 世界選手権大会2018男子大会 中国香港
- ▽12月9日(日) 18日(火) 第15回アジアニア選手権大会 沖縄・エナジックボウル美浜
- ▽12月21日(金) 23日(日) 文部科学大臣杯第25回全国高等学校対抗選手権大会 神奈川・川崎ランドボウル

ティーンズJAPANもアジアの頂点に!

第19回アジアスクール選手権大会



男女国別対抗で優勝!

この大会で金メダルを獲得した日本選手が、この世界クラスの活躍を取った例は数多い。今回シックスを手にするチャンスを得たのは、3名のユースナショナルチームメンバーと5名のジュニアチームメンバー。ナショナルチームへの予備軍とも言えるジュニア選手の選手たちにモチベーションとなるよう、今年度はこのアジアスクール選手権やナショナルチーム強化合宿への選手抜擢が行われた。結果から言うと、その目論見は見事に成功した形だ。シングルス戦では、ユースナショナルの一人として林元輝(愛知)が力を発揮した。林は4ゲーム目に299、5ゲーム目も286をマーク。アベレージで243に達する好投で、2位に109ピン差をつける圧勝だった。メンバー中唯一の国際大会経験者でもあった林。若いメンバーを勢いづけるに十分な金メダル獲得劇となった。

女子はジュニア日本の安田明香里(京都)が優勝争いに喰らいついた。第1クループのトップ1281ピンをターゲットに、第2クループで登場。5ゲーム目に247をマークしてグループ首位に立ったが、最終ゲームで300



男子のみでも国別対抗V

0を打ち上げたシンガポールのシンが逆転優勝し、安田は3位で銅メダルとなった。男子は新舎拓巳(岡山・ユースナショナル)が、女子は石本恵梨奈(大阪・ジュニアジャパン)がともに4位で、手応えもつかない日本チームだったが、ダブルス戦では男子が4位と5位で惜しくも表彰に登れず。女子は悔しい結果に終わったダブルスの雪辱を果たすと、4人チーム戦では前半4位につけてメダルを狙った。3位との19ピン差を埋めようと臨んだ後半戦だったが、振るわず6位に終わった。

男子は4人チーム戦で巻き返しに成功した。前半の3ゲーム目に903の高スコア。4人ともシリーズスコアを600台に乗せて、2509とした。2位の中華台北とは120ピン差、チーム戦では大差とは言えないが、優勝を狙うに十分なリードを作った。勝利を決定づけたのは後半2



女子シングルス安田が笑顔の銅メダル



男子シングルス林のドヤ顔も納得のスコア

第19回アジアスクールボウリング選手権大会

参加8の国と地域 96名(男子56・女子40) 2018.10.1~8 中華台北・Da Chung Bowling Centre

《男子シングルス戦》6 G		《女子シングルス戦》6 G	
優勝 林 元輝(日本・愛知)	1,460	優勝 ZONG YI SHIN(シンガポール)	1,292
準優勝 ALEX YU(中国香港)	1,351	準優勝 ARIANNE TAY(シンガポール)	1,281
第3位 KENZO UMALI(フィリピン)	1,345	第3位 安田 明香里(日本・京都)	1,253
第4位 新舎拓巳(日本・岡山)	1,330	第4位 石本 恵梨奈(日本・大阪)	1,231
第11位 藤永北斗(日本・熊本)	1,259	第20位 岩元 美咲希(日本・愛知)	1,097
第14位 斉藤 翔(日本・愛知)	1,233	第23位 立花 沙貴(日本・兵庫)	1,093
《男子ダブルス戦》2x6 G		《女子ダブルス戦》2x6 G	
優勝 中国香港	2,671	優勝 シンガポール	2,428
準優勝 シンガポール	2,666	準優勝 オーストラリア	2,372
第3位 シンガポール	2,661	第3位 シンガポール	2,343
第4位 日本(林・新舎)	2,646	第8位 日本(石本・立花)	2,249
第5位 日本(斉藤・藤永)	2,622	第13位 日本(安田・岩元)	2,156
《男子4人チーム戦》4x6 G		《女子4人チーム戦》4x6 G	
優勝 日本(林・新舎・斉藤・藤永)	4,959	優勝 シンガポール	4,436
準優勝 中華台北	4,779	準優勝 オーストラリア	4,341
第3位 シンガポール	4,650	第3位 中華台北	4,311
		第6位 日本(石本・立花・安田・岩元)	4,049
《男子オールイベント》18 G		《女子オールイベント》18 G	
第1位 ALEX YU(中国香港)	4,131	第1位 QUEK LU YI(シンガポール)	3,571
第2位 林 元輝(日本・愛知)	4,085	第2位 ALENA DANG(シンガポール)	3,553
第3位 EUGENE YEO(シンガポール)	4,020	第3位 JAMIE PHELAN(オーストラリア)	3,536
第4位 藤永北斗(日本・熊本)	3,924	第4位 石本 恵梨奈(日本・大阪)	3,499
第6位 新舎拓巳(日本・岡山)	3,770	第10位 安田 明香里(日本・京都)	3,377
第8位 斉藤 翔(日本・愛知)	3,730	第28位 立花 沙貴(日本・兵庫)	3,156
		第30位 岩元 美咲希(日本・愛知)	3,096
《男子マスターズ戦》		《女子マスターズ戦》	
準優勝 藤永北斗(日本・熊本)	416	優勝 QUEK LU YI(シンガポール)	430
EUGENE YEO(シンガポール)	221	準優勝 GRACE GELLA(フィリピン)	212
第3位 IVAN TSE(中国香港)	208	第3位 JAMIE PHELAN(オーストラリア)	205
第4位 斉藤 翔(日本・愛知)	3,611(90)	第4位 安田 明香里(日本・京都)	3,312(115)
第7位 林 元輝(日本・愛知)	3,462(100)	第6位 石本 恵梨奈(日本・大阪)	3,256(100)
第8位 新舎拓巳(日本・岡山)	3,454(100)		

林 元輝(愛知・県立杏和高等学校) 岩元美咲希(愛知・名古屋市立若宮商業高等学校)
 斉藤 翔(愛知・県立鳴海高等学校) 安田明香里(京都・京都外大西高等学校)
 新舎拓巳(岡山・岡山理科大学附属高等学校) 石本恵梨奈(大阪・大阪市立美津島中学校)
 藤永 北斗(京都・熊本国府高等学校) 立花 沙貴(兵庫・県立宝塚高等学校)



男子4人チーム戦 金メダルのうれしさがみしめる日本メンバー

へのシードを獲得した。3位決定戦を勝ち上がったシンガポールのイエオと2ゲームマッチに臨んだ藤永。1ゲーム目はスベアで凌ぎ、展開となり189対206でリードを許してしまふ。勝負の2ゲーム目、序盤にイエオが連続でオープンフレームとし、先に藤永がダブルを決めたことで逆転に成功した。後半イエオは立て直して連続ストライク。藤永もタキーを決めて応戦したが、257対215。トータルスコアは418対421で、藤永は惜しくも銀メダルとなった。

国別対抗順位は①金メダル、②銀メダル、③銅メダルの順に上位から表彰される。男女の国別対抗で日本は金2銀2銅1とし優勝。メダル獲得総数ではシンガポールに上回られたが、金メダルは同数、銀メダルで日本が一つ上回った。男子国別対抗も同様で、銀メダルの数が決めた手となって日本が優勝を果たした。



男子オールイベントの銀には悔しげな林



男子マスターズ戦 銀でも強さは示した藤永

Photo by Asian Bowling Federation

ガイド
 アジアスクール選手権大会には日本は第3回大会(2000年)で初参加し、以降7名のマスターズ戦優勝者が輩出している。今年のアジア競技大会で金メダルを獲得した佐々木智之(神奈川県)や石本美来(学連)もその一人。有望なジュニア選手が経験と自信を身に付けている。大会には18歳以下の選手が出場できる。競技種目は男女別にシングルス戦、ダブルス戦、4人チーム戦(すべて人数x6ゲーム)とマスターズ戦。マスターズ戦はオールイベント(シングルス・ダブルス・4人チーム)での個人スコア合計の上位16名が出場し、ラウンドロビン(総当たり)16ゲームを行う。各ゲームの勝者は10ピンのポイントが与えられ、スコアの合計上位3名が決勝ステップラダーへ。2位、3位選手は1ゲームマッチを行い、勝者が1位選手が2ゲームマッチで優勝を争う。

西日本 浜辺津那子 今季2冠

島根



(左から)北山、堤、浜辺、播本

▽男子シニア 2回戦を終えてトップは新井正雄(鳥取)の1295。14ピン差を追っていた谷昌樹(熊本)は3回戦で697と打ち上げて首位を奪った。すると決勝戦、8位で通過した堤賢治郎(奈良)がビッグゲームを連発。758をマークして122ピン差を大逆転した。

▽女子シニア 大井典子(岡山)と北山明美(京都)が2回戦を終えて1190で並ぶ大接戦。3回戦では北山が598とスコアを伸ばした。63ピン差をつけた北山に林静恵(山口)が596を打って追ったが、31ピンリードを守って北山が逃げ切った。

▽男子グランドシニア 予選1回戦からアペレーシ200UPを買ったのは、播本雄輔(京都)と上田幸男(福岡)の2人のみ。播本が毎シリーズわずかに上田を上回るスコアでリードを広げていき、決

東日本 剣持京子 3連覇

群馬



(左から)剣持、近江、鳥谷部、稲田

▽男子シニア 6ゲームを終えてトップは、元全日本王者の中田明(福島)。年輪ハンディキャップを加えたスコアとはいえ、1516の高得点をたたき出した。ところが後半戦で大きくマイナスしてしまふ。代わって首位に立った近江雅久(神奈川)は、決勝戦を前に2位の松原聡(東京)を迎えたが、最終ゲームで

西日本シニア

▽男子シニア 2回戦を終えてトップは新井正雄(鳥取)の1295。14ピン差を追っていた谷昌樹(熊本)は3回戦で697と打ち上げて首位を奪った。すると決勝戦、8位で通過した堤賢治郎(奈良)がビッグゲームを連発。758をマークして122ピン差を大逆転した。

▽女子シニア 大井典子(岡山)と北山明美(京都)が2回戦を終えて1190で並ぶ大接戦。3回戦では北山が598とスコアを伸ばした。63ピン差をつけた北山に林静恵(山口)が596を打って追ったが、31ピンリードを守って北山が逃げ切った。

▽男子グランドシニア 予選1回戦からアペレーシ200UPを買ったのは、播本雄輔(京都)と上田幸男(福岡)の2人のみ。播本が毎シリーズわずかに上田を上回るスコアでリードを広げていき、決

東日本シニア

▽男子シニア 6ゲームを終えてトップは、元全日本王者の中田明(福島)。年輪ハンディキャップを加えたスコアとはいえ、1516の高得点をたたき出した。ところが後半戦で大きくマイナスしてしまふ。代わって首位に立った近江雅久(神奈川)は、決勝戦を前に2位の松原聡(東京)を迎えたが、最終ゲームで

▽女子シニア この大会個人総合2連覇中の剣持京子(群馬)が、2回戦にシリーズ716をマークして抜け出した。2位の穴田順子(東京)に112ピン差をつけての決勝戦ではローゲームで大ピンチを迎えたが、最終ゲームで

▽女子グランドシニア 鳥谷部エイ子(青森)は1回戦でトップに立つと、2回戦ではリードを53ピンに、3回戦では125ピンにまで広げていった。そして決勝戦も危なげないスコアメイクで、中村邦子(石川)の追い上げをかわして優勝を決めた。

第9回東日本・西日本シニア選手権大会

第9回東日本シニア選手権大会、第9回西日本シニア選手権大会が、10月20日(土)・21日(日)に開催された。今年度から4部門別の個人戦を行う大会にリニューアル。山形・山形ファミリーボウル(公競No.106・033)での東日本大会には243名が、山口・下関ロイヤルボウル(公競No.135・029)での西日本大会には184名が出場した。

229と持ち直して、3連覇を達成した。

▽男子グランドシニア 稲田武史(北海道)が2回戦に820のビッグスコアをたたき出した。トータルも1468まで伸ばし、2位の木村誠(東京)に74ピン差をつけた。3回戦では240合を連発、決勝でも280をマークして、稲田が独走で優勝を遂げた。

ガイド

昨年年度まで個人戦・2人チーム戦と個人総合決勝戦を行っていた東日本・西日本シニア競技大会が、「選手権大会」に名称変更とともに個人戦のみを大会として再始動した。

部門設定は50、64歳の男子シニア・女子シニアと、65歳以上の男子グランドシニア・女子グランドシニアの4種で変わら



第9回西日本シニアボウリング選手権大会 成績表

2018年10月20日(土)~21日(日) 参加: 184名 会場: 山口・下関ロイヤルボウル

《男子シニアの部》 12G	62名	《女子シニアの部》 12G	33名
優勝 堤 賢治郎 (奈良)	2,614	優勝 北山 明美 (京都)	2,352
準優勝 林 田 栄三 (島根)	2,603	準優勝 林 静恵 (山口)	2,321
第3位 谷 昌樹 (熊本)	2,589	第3位 大井 典子 (岡山)	2,255
第4位 川 口 勝洋 (和歌山)	2,574	第4位 林 田 尚恵 (島根)	2,252
第5位 後 田 秀行 (山口)	2,569	第5位 森 脇 真理子 (京都)	2,237
第6位 奥 山 新吾 (岡山)	2,539	第6位 西 熊 嘉於子 (福岡)	2,233
ハイゲーム 谷 昌樹 (熊本)	269	ハイゲーム 大井 典子 (岡山)	264
ハイシリーズ 名 和 政宏 (兵庫)	701	ハイシリーズ 大井 典子 (岡山)	658
《男子グランドシニアの部》 12G	59名	《女子グランドシニアの部》 12G	30名
優勝 播 本 雄輔 (京都)	2,569	優勝 浜 辺 津那子 (島根)	2,304
準優勝 上 田 幸男 (福岡)	2,448	準優勝 平 田 千鶴子 (岡山)	2,242
第3位 福 田 雅仁 (福岡)	2,422	第3位 石 原 留美子 (島根)	2,230
第4位 並 河 包 恭 (京都)	2,370	第4位 中 川 みち子 (滋賀)	2,221
第5位 謝 花 喜信 (沖縄)	2,347	第5位 加 藤 幸子 (広島)	2,184
第6位 南 里 一政 (長崎)	2,317	第6位 森 元 早苗 (宮崎)	2,170
ハイゲーム 吉 田 治 (香川)	256	ハイゲーム 加 藤 幸子 (広島)	256
ハイシリーズ 田 中 佳 一 (滋賀)	671	ハイシリーズ 加 藤 幸子 (広島)	646

第9回東日本シニアボウリング選手権大会 成績表

2018年10月20日(土)~21日(日) 参加: 243名 会場: 山形・山形ファミリーボウル

《男子シニアの部》 12G	112名	《女子シニアの部》 12G	37名
優勝 近 江 雅久 (神奈川)	2,784	優勝 剣 持 京子 (群馬)	2,521
準優勝 増 田 直秀 (静岡)	2,765	準優勝 穴 田 順子 (東京)	2,482
第3位 松 原 聡 (東京)	2,754	第3位 泉 洋子 (石川)	2,436
第4位 前 田 長一 (千葉)	2,736	第4位 鈴 木 英子 (福島)	2,374
第5位 中 田 明 (福島)	2,731	第5位 伊 東 千枝子 (栃木)	2,362
第6位 押 切 功 (神奈川)	2,703	第6位 岡 里 美 (石川)	2,348
ハイゲーム 斎 藤 有作 (神奈川)	289	ハイゲーム 國 分 基子 (福島)	268
ハイシリーズ 薮 下 浩一 (愛知)	788	ハイシリーズ 剣 持 京子 (群馬)	701
《男子グランドシニアの部》 12G	65名	《女子グランドシニアの部》 12G	29名
優勝 稲 田 武史 (北海道)	2,858	優勝 鳥 谷 部 エイ子 (青森)	2,569
準優勝 小 玉 真 (神奈川)	2,808	準優勝 中 村 邦子 (石川)	2,468
第3位 鎌 田 政善 (群馬)	2,629	第3位 大 丸 谷 智子 (石川)	2,306
第4位 西 川 外志雄 (石川)	2,587	第4位 久 我 百合子 (新潟)	2,249
第5位 木 村 誠 (東京)	2,561	第5位 内 田 正子 (茨城)	2,224
第6位 三 嶋 正志 (神奈川)	2,557	第6位 湯 本 友子 (栃木)	2,221
ハイゲーム 稲 田 武史 (北海道)	289	ハイゲーム 鳥 谷 部 エイ子 (青森)	268
ハイシリーズ 稲 田 武史 (北海道)	805	ハイシリーズ 鳥 谷 部 エイ子 (青森)	684



向谷美咲 & 畑秀明

PBA リーショナル ツアー

ペアが優勝

ペアが優勝

写真提供：ジャパンボウリングプロモーション

We are Team JAPAN ナショナルチーム通信

11・24開幕!

日本代表 6名が参戦

世界選手権2018男子大会

世界選手権大会2018男子大会が11月24日(土)から中国香港で開催されます。第18回アジア競技大会男子トリオ戦金メダリストの佐々木智之(神奈川)と畑秀明(和歌山)、安里秀策(和歌山)の3選手と、春田恒平(茨城)、田中稜也(石川)、新畑雄飛(福井)が代表に抜擢されました。

【日本代表選手】
佐々木智之(神奈川・湘南モノレール)、春田恒平(茨城・株立製作所)、田中稜也(石川・北電テクノサービス)、新畑雄飛(福井)

【特別待遇選手】
アジアカタパレンパンの金メダリスト4名が特別待遇選手に、第15回世界ユース選手権大会のメダリストが特別待遇選手に認定されました。また各メダリストには褒賞金が授与されました。

【特別待遇選手】
佐々木智之(神奈川・湘南モノレール)、和田翔吾(和歌山・和歌山県海草振興局建設部)、安里秀策(和歌山・日高東宝ボウル)、石本美来(学連・岡山商科大学)

全日本ナショナルチーム男子キャプテンを務める佐々木智之(神奈川)が第67回神奈川スポーツ賞を受賞しました。

国内外で功績を挙げた県内のスポーツ選手を称える賞。



神奈川スポーツ賞 佐々木智之が受賞

日本代表としても第18回アジア競技大会での金メダル獲得など活躍が目立つ今年、10月の福井国体で神奈川を男女総合連覇に導いた大黒柱としての活躍と、後進の指導にも尽力する姿が評価されました。

チーターミックスダブルス

大会は10月8日(月・祝)に愛知・名古屋グランドボウル(公競No.122・023)で開催。トップで決勝トーナメントに進出した向谷美咲(千葉)とユースナショナルチームメンバーの畑秀明(神奈川)がペアを組み優勝を果たしました。

前日の7日(日)に行われた個人戦のマスターズでは、安里秀策(和歌山)と元全日本ナショナルチームメンバーの川添太プロが優勝決定戦で対決、同点決勝にもつれ込み結果、川添プロが優勝となりました。またクイーンズでは元全日本ナショナルチームメンバーの浅田梨奈プロが優勝しました。



日本 銀メダル3個獲得

2018アジアパラ競技大会が10月6日(土)から13日(土)にかけて、インドネシア・ジャカルタで開催されました。チーターボウリングの視覚障害部門には日本から選手10名が参加し、銀メダル3、銅メダル1の好成績を残しました。

個人戦は視覚障害の程度と男女別に4クラスに分かれ、TPB1男女混合クラスで森寛樹選手が3位、TPB3女子クラスで森澤亜希選手が準優勝となりました。



インドネシアで開催

ダブルス戦はTPB2クラスの選手同士で組む部門で、小林和明選手と比嘉一盛選手のペアが準優勝しました。そして3人チーム戦では森澤選手・小林選手と清杉政敏選手のチームが銀メダルを獲得しました。

今大会では韓国勢の強さが際立ち、ダブルス戦で2人がそろって289ピンをマークした場面も。またマレーシア選手がパーフェクトを達成し、ブラインドボウリングのレベラアップが顕著に見られました。そのよ



国内最高峰 全日本視覚障害者選手権開催

アジアパラ競技大会の開幕を控えた9月29日(土)・30日(日)には、第17回全日本視覚障害者選手権大会が東京・東京ボートボウル(公競No.113)で開催されました。

O27(7)で開催されました。台風の接近による競技内容の一部変更も余儀なくされましたが、44名の

▽オールイベント(9G)
B1クラス 森寛樹(東京) 1256
B2クラス 戸川和夫(東京) 1774
B3クラス 清杉政敏(札幌) 1734

▽ダブルス戦(2X3G)
I組(B1選手を含むダブルス) 梅津茂俊・小林和明(福岡) 906
II組(B2ダブルス) 高木忍・戸川和夫(東京) 1017
B3クラス 阿部安浩(東京)

▽シングルスTPB3女子 森澤選手



ブラインドボウリング 国内&アジアで覇を競う

アジアパラ競技大会

インドネシアで開催

JBC公認 ドリ

有資格者研修会 申込受付中です

東京ボートボウル (東京都港区)
申込締切 2月1日(金)
2019年1月21日(月)
大阪会場 3月7日(木)
神崎川サイドボウル (大阪府豊中市)
申込締切 2月27日(水)
参加費5000円
福岡会場 3月8日(金)
博多スターレイン (福岡県福岡市)
申込締切 2月27日(水)
参加費(会場共通) 3000円

▽シニアコース
※ブロンズ資格取得から2年経過した方が対象
2019年1月21日(月) 22日(火)
スポート八景ボウル (神奈川県横浜)
参加費5000円
(1日のみ参加の場合は2500円)
申込締切 1月15日(水)
▽義務研修会
東京会場 2月8日(金) 3000円

参加で盛大に行われました。アジアパラ競技大会でも強さを発揮した韓国からも8名がオープン参加して、競技を通じて交流を深めました。

また今大会には全日本ナショナルチームの今井双葉選手(熊本)、ユースナショナルチームの徳久恵大選手(長崎)がコーチとして参加し、日本代表アスリートとして選手に近い立場からサポートしました。

文部科学大臣杯

第56回 全日本大学ボウリング選手権大会

2018.11.23(金)祝 ▶ 25(日)

主催 公益財団法人 全日本ボウリング協会
後援 スポーツ庁
主管 全日本学生ボウリング連合 関東学生ボウリング連盟

川崎グランドボウル
〒210-0012 神奈川県川崎市川崎区宮前町11-14
TEL 044-244-2281 FAX 044-244-2283
http://www.grandbowl.jp/kawasaki/

第51回全日本実業団ボウリング選手権大会

2018.11.23(金・祝) ▶ 25(日)

主催 公益財団法人 全日本ボウリング協会
後援 公益財団法人 愛媛県スポーツ協会
主管 全日本実業団ボウリング連合 愛媛県ボウリング連盟

キスケボウル

〒790-0066 愛媛県松山市宮田町4
TEL 089-998-3000 FAX 089-921-0134